

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 06

学校名・団体名	由利本荘市立岩城小学校
HPアドレス	http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/iwaki-es/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	地域が教室、地域が教材、地域が先生
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>「子どもは地域の宝」「地域の子どもを地域で育てる」と言われながらも、なかなか実際はそのような地域づくりはできていないのが現状である。また、地元である岩城に残り、地元である岩城で活躍したいと夢をもつ若者がなかなか育っていない。さらには、学校週5日制を完全実施して13年経過したが、土曜日を有意義に過ごせていない子どもたちも少なくない。そこで、土曜日を有効活用し、学校や家庭でやれない特色ある教育実践を、「地域の子どもは地域が育てる」という視点で実践を進めていきたいと考えている。</p> <p>目的</p> <p>学校およびコミュニティスクール・PTAとの緊密な連携をもとに、「地域が教室、地域が教材、地域が先生」というテーマに基づいた事業を実施し、将来、岩城そして由利本荘市を背負って立つ人材を育成することを目的とすると同時に、岩城地域の活性化に資するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">・「地域の子ども」を育成する。「地域の子どもは地域で育てる」実践をしていく。・サタデースクール（土曜学習）を実施して、土曜日を有効活用する。・将来、岩城を背負って立つ若者を育てる。・岩城地域の人や物を有効活用し、岩城地域の活性化を図る。	

1 サタデースクール (年4回。土曜日を基本とする。)

◎岩城でなければできないこと、学校ではできないことを実践する。

・第1回 7月30日(土) 道川海水浴場でサンドクラフト

4年以上の希望者

7月30日(土)、第1回サタデースクールとして「サンドクラフト」体験をしました。道川海水浴場の砂浜で、約20人の子どもたちが参加しました。梅雨が明けて暑い日となりましたが、子どもたちは「未来の岩城」をテーマに、未来の岩城小学校や保育園、中学校などを作ったり、ローソンや、なぜかおばこ号も登場しました。



・第2回 8月27日(土) 松ヶ崎・漁船体験と地引き網

4年以上の希望者

8月27日(土)、第2回サタデースクールとして「漁船&地引き網」体験をしました。松ヶ崎漁港で、約35人の親子が参加しました。天候が心配されましたが、当日は天気上々。予定通り、実施することが出来ました。

子どもたちは、はじめに地引き網を体験し、その後、漁船にも乗ることが出来ました。波があるということで、内湾での取り組みになりましたが、魚もとれ、とても良い体験となりました。



・第3回 9月17日(土) 亀田子どもフットパス

4年以上の希望者

9月17日(土)、子どもフットパスを行いました。今回は、地域の方、市内外のお客様を対象として行いました。市内からは7名、途中、宮城県からのお客様8名とも合流しました。

亀田の史跡をしっかりと案内ができるようになりました。また、お客様からは「とてもわかりやすく、初めて知ることがいっぱいあった」と言ってもらいました。



・第4回 10月6日(木)~7日(金) 防災キャンプ

4年以上の希望者

10月6日(木)~7日(金)、防災キャンプをしました。災害時、非難センターとなる岩城小学校。実際の災害が起こらないことを祈りますが、大人の私たちは「もしも……」のことを考えておく必要がありますね。



2 夢プロ人材育成

◎子どもフットパス案内人の育成。

- ・フットパスとは、「観光客と一緒に歩いて、史跡を巡り案内をする」というものである。
- ・岩城小学校が総合学習の一環で取り組んでいる「子どもフットパス」をサポートする。
- ・「自分の町を誇りに思い、観光客に地元を案内できる」子を育成する。

夏休みが終わってから、「子どもフットパス案内人」の育成に取り組んでいます。これは、「岩城の子ども夢プロジェクト(以下、夢プロという)」の人材育成プランの一つです。

夏休み前に6年生が総合学習の授業で取り組んでいた「子どもフットパス」を、夢プロで引き継ぎたいと考えています。スポーツ少年団に入っていない5・6年生を対象に案内人を募集したところ、9月1日現在で、6人の子どもが手を上げてくれました。



3 夢プロジェクト講演会

◎夢をもつころの大切さを、子どもたちに伝えたい。

- ・日時 平成29年2月16日(木) 午後1時20分～3時
- ・演題 「夢を求めて～流氷の伝言～」
- ・講師 動物写真家 小原 玲 氏
- ・会場 岩城小学校
- ・対象 小学校4年～中学校1年(180名) 保護者・地域住民・教職員(30名)

アザラシとの出会いをもとに、小原先生の考えをお話してもらいました。「子どもたちには日々、好奇心を大切にしたい。」「自分が今、何をなすべきか、考える人になって欲しい。」というメッセージをいただきました。

夢をもつと、人は強くなれます。夢をもつと、人はがんばろうとします。夢をもつと、人生が明るくなります。夢をもつと、人生が愉快になります。夢をもちましょう。



4 夢カレンダーの製作

◎夢プロジェクト委員会では、岩城小学校のスクールカレンダーを製作した。

学校行事と夢プロ行事両方を記載しており、夢プロの活動のPRにも寄与するものと期待している。500部作成し、児童にはもちろんのこと、周辺地域にも無料で提供することになっている。

<成果と課題・期待される効果>

<○成果と△課題>

- 当初の計画通りに遂行することが出来た。回を重ねる毎に、夢プロへの関心が高まっていった。
- 次年度以降も、地域の人材育成を図るべく継続させていきたい。
- 「地域の子どものために」という一心で、スタッフがまとまり、協力を仰ぐことが出来た。
- △初めての取り組みだったので、思考錯誤を重ねながら、計画、準備等を進めた。

<期待される効果>

- ・子どもの教育を学校だけに押しつけず、「地域の子どもは地域で育てる」という姿勢をもって実践を進めることで、地域の教育力を高めると共に、そのことによって家庭の教育力も高まっていくものと期待している。
- ・サタデースクール(土曜学習)を実践することで、土曜日を目的無く過ごしている子どもにとっても、有効な日にできる。
- ・ふるさと岩城を意識させることで、将来の岩城を背負って立つ若者を育てていくことができる。
- ・岩城地域の人や物を有効活用し、岩城地域の活性化を図ることが期待できる。